

都立葛飾ろう学校放課後子供教室

■実施組織

文泉こどもクラブ実行委員会

構成メンバー 学生ボランティア（東京学芸大学・筑波技術大学）

地域ボランティア（かつろうサポーターズ）教員（チーム文泉）

保護者（PTA一人一活動）

■プログラム内容

午前 学習教室（全10回）

午後 ものを作る教室（筑波技術大学オリジナル教材 年6回）

からだを動かす教室（ソフトバレーボール等 年6回）

ワークショップ（マジック・シールアート各1回）本校食物系料理教室（年2回）

■実施規模

年間：土曜日10日

■活動のPR

文泉こどもクラブの3年目、スタートしました！！

午前は、東京学芸大学の学生さんに支援頂きながら、がっつり勉強をします。

午後は「ものを作る教室」と「からだを動かす教室」又はマジックの体験型講座、本校食物系による料理教室など、子どもたちの知的好奇心を刺激する企画が盛りだくさんです。

文泉こどもクラブの特徴的なことに昼食があります。料理教室の日を含め、8回の活動日の昼食が提供されます。本校の調理師養成コース（食物系）の生徒を中心に、ボランティアの協力で準備されます。秋の食物系企画イベントでは、子どもたちも参加する料理教室として実施します。（アレルギー対応が必要なお子さんは、お弁当持参になります）

また、学習では東京学芸大学の聴覚障害の学生が、ものを作る活動では聴覚障害者のための大学である筑波技術大学の学生が企画進行をします。ワークショップの講師である十島先生は、聾のプロマジシャン「マジックトシマ」として活躍され、ソフトバレーボールの講師も聾の成人です。食物系の先輩や聴覚障害をもつ多くの先輩たちが活躍する様子をロールモデルとして、子どもたちに多くのことを学んで欲しいと願っています。

葛飾ろう学校児童・生徒の参加が多いですが、他のろう学校や地域の難聴学級などからの参加も歓迎いたします。事務局までお問い合わせください。